♪図書委員会発行　図書館だより♪

# 図書の宅急便

**2016年6月号 第2弾**　妹尾中学校　図書委員会

担当　図書委員長・書記

## 先生方のおすすめの本

先生方が生徒にオススメしたい本を教えてもらいました。
今回は、新しく来られた先生方のオススメの本です。
今回、載せられなかった先生方は９月号以降に載せさせていただきます。

**岡田先生**

**『ふだん使いのマインドマップ』矢嶋美由希/作**

マインドマップって知ってますか？今、私がちょっと興味を持っていることです。ビジネスに多く使われてきた有効なツールです。でも日常生活の中でこそ、大いに力を発揮しそうなマインドマップ。思いつくままに枝を伸ばしていけば、それまで見えてこなかった問題点がわかります。ムダなく買い物するために、日々のスケジュール管理に、家族旅行のプラン作りに、友だちや家族とのコミュニケーションアップに……あらゆる場面に役立つ？ハズ…ですよ。

**本の表紙は、配布した図書の宅急便をごらんください。**

**奥田先生**

**『博士の愛した数式』小川洋子/作**

普段何げなく使っている数や式をストーリーに交えながらストーリーがかかれています。そのため、読んでいる途中に納得させられたり、考えさせられたり…。数に関する面白い話も出てくるのでぜひ一読を！！

**越智先生**

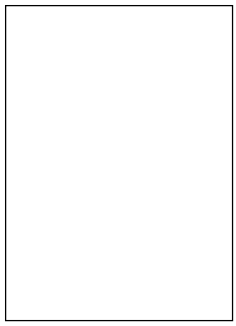
**『想像ラジオ』いとうせいこう/作**

東日本大震災の話です。
内容が重いと思うかもしれませんがとても軽快に死者と生者のやり取りが書かれています。あの日、突然命を失った人びとの声に耳を傾けることは生きている者の務めなのだと思いました。今までと考え方が変わる（かもしれない）考えさせられる一冊です。

**小野先生**

**『月の影　影の海』(十二国記シリーズ）小野不由美/作**

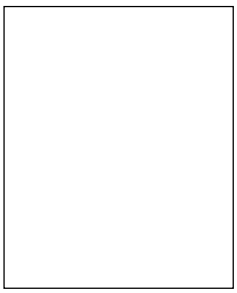
中学生の頃、図書室でこの本を手に取り、とても衝撃を受けたことを、今でも覚えています。異世界を描くファンタジー作品は数多くありますがこの作品は常識も何もかも違う見知らぬ国で生き抜く難しさ、裏切りや友情、主人公の成長を丁寧に書き込んでいます。とても考えさせられるお話です。



**木村先生**

**『旅のラゴス』筒井康隆/作**

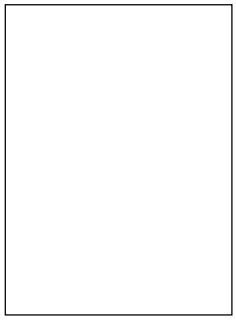
主人公が生涯をかけて世界中を旅して帰ってくるという話。内容は普通だが、旅の道中のエピソードやＳＦの要素がうまく絡み合っていて、おもしろい本です。旅って何のためにするの？という疑問を一度でも持ったことがあればぜひ、読んでほしいです。



**合内先生**

**『エイジ』重松清/作**

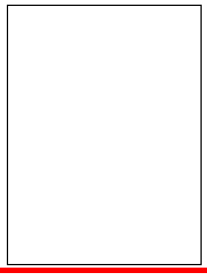
通り魔事件、友達や家族。好意を寄せる女子への思いなどを通して一人の少女が少しずつ成長していきます。小学生の幼さは消え、高校生の生臭さにはまだ少し時間があり、感じてはいるけれどそれを正確に伝える言葉や行為が見つけ出せずにいる。そんな中学生エイジの「戸惑い」が、手に取るように分かる作品です。



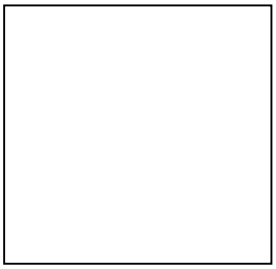
**眞田先生**

**『赤毛のアン』モンゴメリ/作**

アンの天真爛漫さ、前向きにわくわくするお話です。
集中してどんどん読んでしまいます。



**田中先生**

**『世界で一番美しい元素図鑑』セオドア・グレイ/作**

世界は、こんなにも美しい元素たちで成り立っているのか…。